



カヤバ史料館 展示リニューアル

小牟田 久美 ・ 藤澤 杏子

1 はじめに

カヤバ史料館は相模工場内（神奈川県相模原市）にあり、会社創立70周年記念事業の一環として2005年に完成し、今年で開館から19年目を迎える。当館は当初、社内での活用、人財育成の場とすることを目的として設立された。現在も社内活用はもちろんのこと、工場や研究棟に来訪されるお客様・お取引先様への見学を始め、リクルート活動や夏休み期間に小学生を対象としたイベント開催などにも利用され、交流の場になっている。

今回、カヤバの歴史や技術力の高さを、より伝わりやすくするよう、パネルや展示方法などを見直し、リニューアルしたので紹介する。

2 カヤバ史料館レイアウト

カヤバ史料館の大まかなレイアウトを以下（図1）に示す。フロアは2階構成であり、カヤバの歴史および開発品やグループ会社全体の製造製品を紹介している。

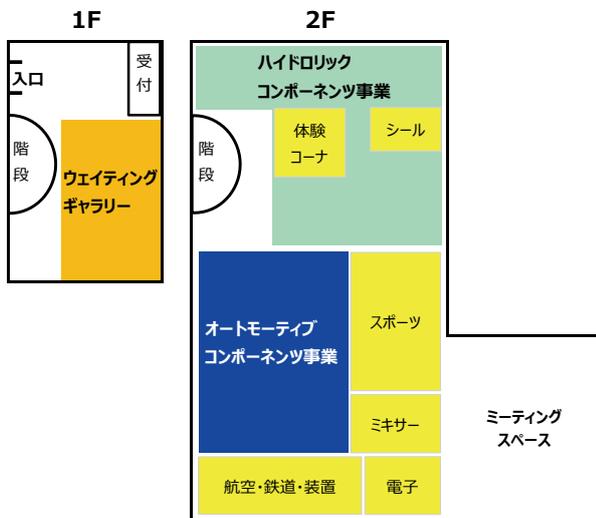


図1 カヤバ史料館レイアウト図

3 ウェイティングギャラリー

1Fは商談で訪れる方々のウェイティングギャラリーとして常時開放しており、新たに広報で制作した各工場の紹介動画等をデジタルサイネージとして積極的に放映している（写真1、写真2）。

尚、各工場紹介動画はYouTubeでも公開している。



写真1 ウェイティングギャラリー



写真2 デジタルサイネージ

壁面には『カヤバ主要製品年表』を設置しており、オレオ（油圧緩衝脚）をカヤバのDNA（写真3）とし、振動制御技術やパワー制御技術など、各製品群に受け継がれていることが分かるよう年表を展示している（写真4）。



写真3 カヤバDNA



写真6 オリジナル注射器ショベル

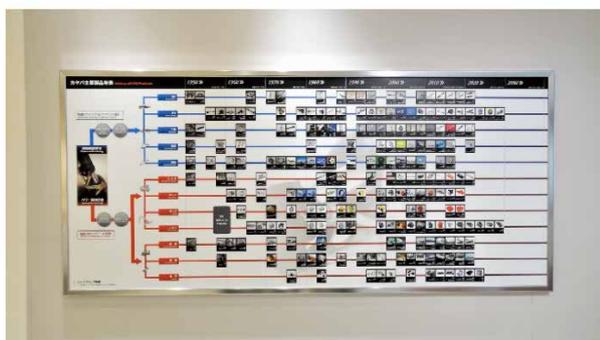


写真4 カヤバ主要製品年表



写真7 大小注射器によるパスカルの原理体験

現在、2023年までの製品を掲示しているが、創立100周年を迎える2035年も見据えて、主要製品を掲示しており、この年表をご覧になった来館者様より、カヤバの歴史と様々な事業展開に感嘆の声を頂いている。

4 油圧体験コーナー

史料館にはパワー制御技術の基礎となるパスカルの原理を体感していただける動展示（写真5）があり、油圧で何故大きな力を出せるのかを体感できようになっている。

また、小学校の夏休み期間に合わせ、オリジナルの注射器ショベルの工作や、油圧・摩擦のちからを学ぶお子様向けイベントを開催している（写真6, 7）。



写真5 パスカルの原理体感器

5 油圧機器(ハイドロリックコンポーネンツ)

これまで、何がカヤバの凄さなのかを紹介できていなかったコア技術の一つに、ミクロン単位での研磨合わせ加工精度の技術がある。ピストンやスプールを手にとって触っていただけよう工夫した。

また、コントロールバルブの鋳物の生産工程や、ピストンポンプのピストンの動き方を動画で見て頂くことで、口頭では伝えることが難しかった部分によりご理解いただけるようになった（写真8）。



写真8 ポンプ・バルブコーナー

さらに、走行モータは分解展示することによって、これまで略図でしか見たことがなかった部分を実物で確認できるようにした。



図4 SAの装着箇所と機能説明



写真13 トライボロジーコーナー

更に、この調合されたオイルをWRX（ワールドラリークロス選手権）のSAに封入したところ、チーム優勝やドライバーズ優勝という快挙を成し遂げるという成果があったことも紹介している（写真14）。



写真11 SAの減衰力有無の比較動画



写真14 WRCコーナー



写真12 SA分解展示, バルブ部の説明

最新技術としては、SwingValveやProsmooth®を展示し、極微低速領域に特化した乗り心地までご提供できるメーカーであることを紹介している。

現在はSA内に封入するオイルの調合レシピを自社で開発できるようになり、環境開発油サステナブルTMを開発した。その開発には技術者・研究者たちのトライボロジーに対する思いがあることもお伝えしている（写真13）。

7 今後の課題

今回紹介できなかった他事業製品においても、パネルに統一感を出し、前述のように技術用語がわからない方から技術者までわかりやすい展示を目指していきたい。

また、コロナ禍後、様々な展示会が活発化してきているので、展示会後に展示品を史料館で活用させていただき、技術広報としてカヤバのコア技術の凄さを来館者のみなさまに伝えていくことが史料館の役目の一つと考えている。

神奈川県企業博物館連絡会への参加などからの学びにより、他社の史料館・科学館を参考にして、デジタル化についても見せ方の工夫を進めていきたい。

8 おわりに

カヤバ史料館は一般の方々への公開日も設けています。ご興味をお持ちの方は是非ご来館ください。

(木曜：14：00～16：00 詳細はカヤバHP)

また、社員の方も、ご家族に自身が働いている会社を知ってもらい一助となるので、是非ご利用ください。

最後になりましたが、各事業・各部門の皆様には日頃よりご支援・ご協力いただき深く感謝致します。

この場をお借りして御礼申し上げます。
引き続きご支援賜りたくお願い申し上げます。



カヤバHP内・カヤバ史料館



カヤバYouTube

著者



小牟田 久美

2008年入社。技術本部カヤバ史料館。



藤澤 杏子

2008年入社。経理部（岐阜南駐在）、電子技術センター管理室、基盤技術研究所企画室を経て現職。